

外国人労働者支援調査特別委員会 委員長報告（骨子案）

1 委員会の取組経過

- (1) 特別委員会の設置目的、重点調査項目
- (2) 調査経過、概要

2 委員会の意見

- (1) 日本語支援 **論点：基礎自治体との役割分担**

①働くための日本語

- ・今働いている人に向けて
社会人スキル
(コミュニケーションの円滑化、日本特有の文化・マナー)
- ・次に働く世代に向けて
- ・特定の職種に対する日本語指導（介護人材等）

②日本語教育の在り方

質の確保（指導者の確保、待遇改善）

- (2) 外国人総合相談支援センターMieco（ミエコ）の機能拡充（充実）

期待されている役割を担うことができるように

論点：具体案

- (3) 企業の関わり **論点：国との役割分担**

特定1号2号、技能実習生受入団体等へのチェック機能強化（国へ要望）

- (4) その他

- ・受け入れる側の意識改革、土壌づくり
コミュニケーションイベント等の交流促進
- ・予算確保の工夫（文化庁の日本語教育コーディネーター事業の活用など）
- ・調査検討中とされている夜間中学も含めた学びの場

- 3 結語（まとめ） **論点：委員会が考える最終到達目標**

定住者・永住者の多い三重県であるからこそ取り組むべき課題

⇒ 産業政策としての三重県モデルの確立